



雑穀輪作は雑草管理がポイントです！

雑穀を組み入れた畑輪作では、雑草の発生が多くなる雑穀栽培3作目以降に抑草効果の高い移植栽培や大豆栽培などを組み合わせて、雑草発生を抑えることにより、安定生産できます。

【成果の内容は…】

(1) 雑草発生を少なくする輪作技術のポイント

雑草発生量が多くなる3作目以降に抑草効果の高い移植栽培の導入や大豆（除草剤を使用できる作物）を作付することで雑草発生量を低減できます。

(2) 大豆を栽培する場合

当年作は除草剤や培土の効果によってイネ科雑草を低減できますが、翌年に雑穀を栽培すると抑草効果は期待できませんが、2年連作することにより、1年作より抑草効果は高くなります。

(3) 雑穀を組み入れた畑輪作体系モデルの一例

雑草発生を少なくする輪作技術のポイントとして、雑穀の移植栽培または大豆栽培（2年連作）を定期的に組み入れます。

表1. 雑穀畑輪作体系と葉たばこ栽培に雑穀を取り入れた畑輪作体系(例)

	1 作目	2 作目	3 作目	4 作目	5 作目	6 作目
雑穀輪作体系	雑穀 直播	雑穀 直播	雑穀 移植	雑穀 直播	雑穀 直播	雑穀 移植
			大豆	大豆		雑穀 直播
葉たばこ輪作体系	葉たばこ	葉たばこ	葉たばこ	雑穀 直播	雑穀 移植	葉たばこ
				大豆	大豆	

【気をつけておきたいことは…】

- (1) 収穫時の残草量が少ないことが収量を安定させます（図1）。アワ、キビ、ヒエ、タカキビの他、アマランサス、エゴマにおいても、同じような傾向があります。
- (2) 雑草発生が多いと予想される時は、出芽に日数を要するタカキビやエゴマは栽培しないようにしましょう。
- (3) 移植栽培は抑草効果が高いですが、アワ白髪病の発生・蔓延を助長するおそれがあります。

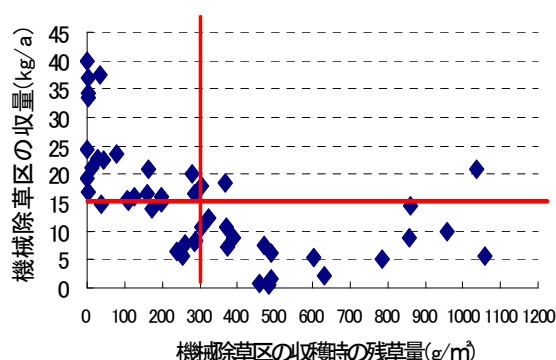


図1. 輪作作物の収量と収穫時残草量
(H21-25、アワ・キビ・ヒエ・タカキビのデータ)

【期待される効果は…】

- (1) 雑草の発生を少なく抑えて、雑穀を取り入れた畑輪作体系に取り組むことで雑穀の生産安定の技術として活用されます。